

競合分析（事例）

－ シューズメーカー 3社 －

JPDS 日本パテントデータサービス（株）
調査部

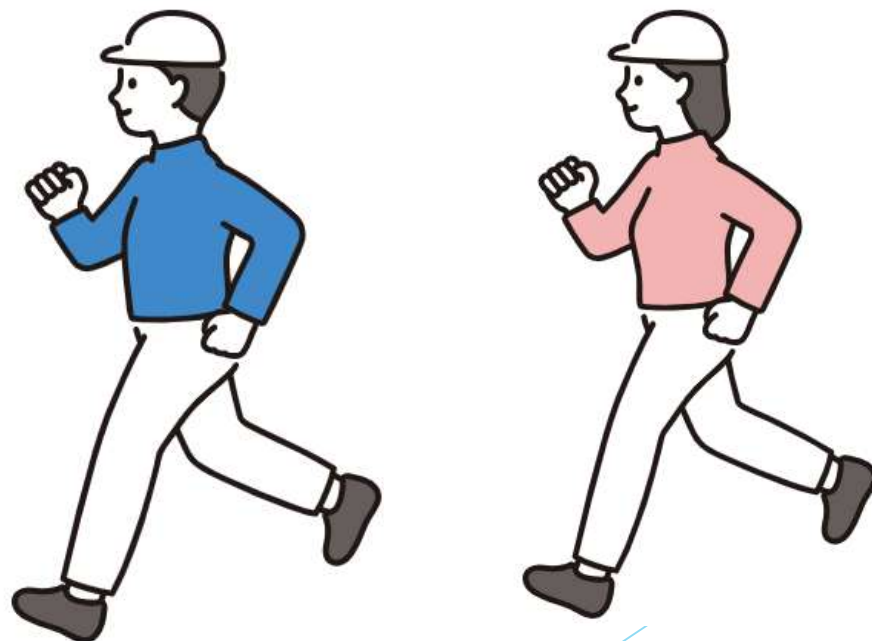
2025年6月

シューズメーカー 3社 競合分析

－ 目次 －

【はじめに】

- 1) 3社の全体傾向
- 2) 各社 課題/解決
- 3) 総評



【はじめに】

2025年の年明けの駅伝において、各校の戦いもさることながら、道具としてのシューズに関しても着目が集まりました。

※ スポーツライターの生島淳氏は、各校のシューズに着目し、統計を取ったとの発言をラジオで行っておいりました。

(同様に某スポーツ新聞でも、その集計が発表されていたようです。)

Web 記事による勢力図

スポーツ雑誌Numberのウェブ版にて、2025年の箱根駅伝において、選手が履いているシューズに関して、アルペングループがまとめた数値が掲載されており、それによると、上位3社は以下のようになっております。

- (1) アディダス
- (2) アシックス
- (3) ナイキ

この3社は2024年の箱根駅伝でも同様に3強だったことが記されています。

参照 : Number Web

<https://number.bunshun.jp/articles/-/864433>

Web 記事による上位3社の特徴

- ナイキ . . . “アルファフライ3” 、 “ヴェイパーフライ3”
〔高反発なズーム X フォームをより多く使用、
幅広にカーボンファイバープレートを
フルレングスで配する〕
- アシックス . . . “「METASPEED」シリーズ”
〔カーボンプレートをミッドソール上部に配置。
フォーム材をより圧縮させることで、
大きな反発力を追求など〕
- アディダス . . . “アディゼロ アディオス Pro EVO 1”
〔業界トップクラスのフォーム、
LIGHTSTRIKE PROをフルレングスで搭載〕

※注：記事の内容を基に当方にてまとめております。

上位3社の傾向 (Web記事より)

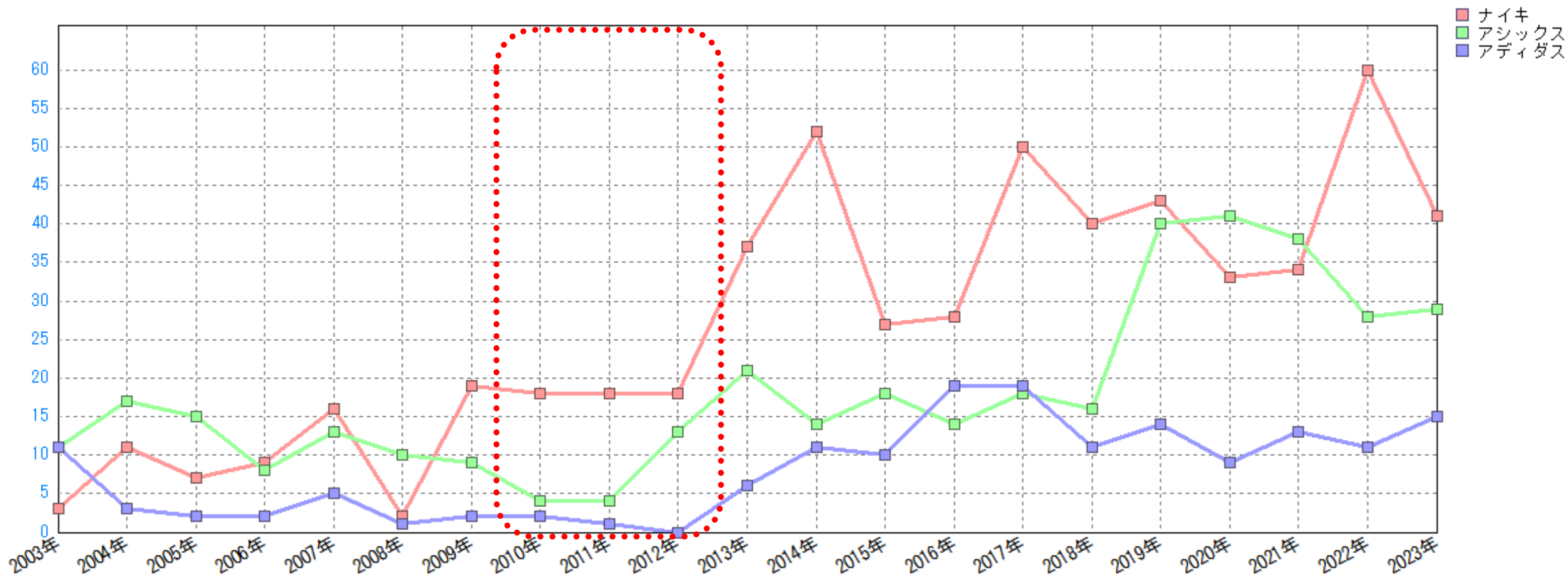
Webの記事を見る限り、3社のいずれにおいても以下の特徴が示されております。

- ・ カーボンファイバープレートの利用
- ・ フォームの工夫

では、上位3社についての特許情報を、確認していきましょう。

1)-1 3社の全体傾向

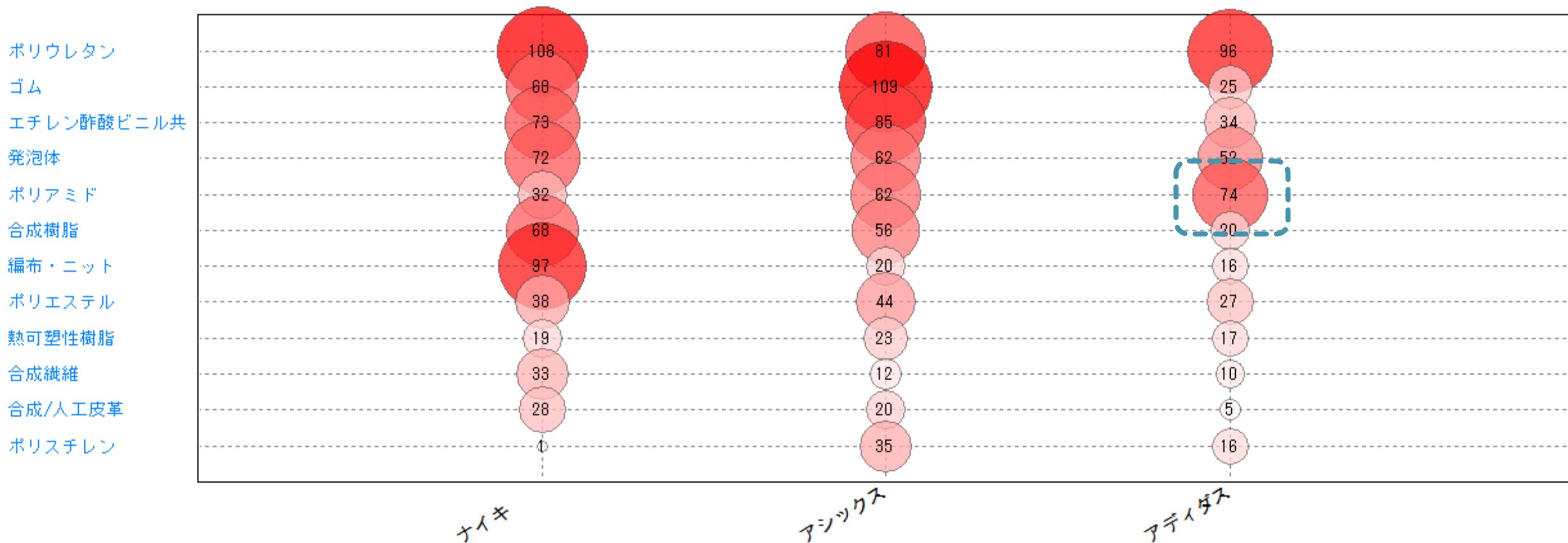
出願年×出願人（出願数）



3社とも2011年・2012年以降の伸びが顕著になっています。

1)-2 材料（Fターム：4F050）からみる3社の比較

Fターム×出願人（出願数）



3社ともに同じような傾向に見えますが、アディダスの“ポリアミド”が突出しているのは気になります。

アディダス 記載例

ポリアミドの特徴に関して、アディダスの出願では、以下のよう
に記載されております。

「ポリアミド発泡体は**軽量**で、良好な**緩衝性**および快適性を可
能にし、**高い耐久性**を有することができ、改善された耐薬品
性を示し、その組成をカスタマイズすることができ、比較的
低い吸水性を有するように調節することができる。

〔中略〕

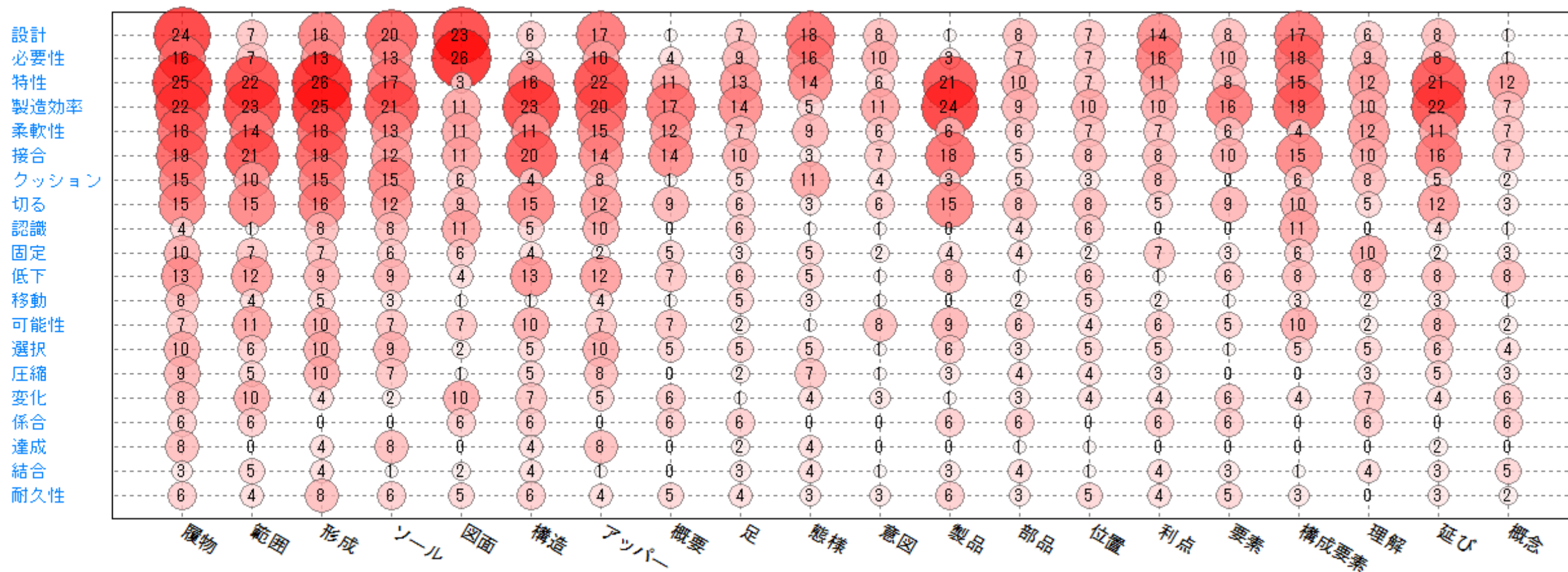
これは、様々な運動活動に有利であり得る。」

(特開 2 0 2 5 – 7 1 0 4 8 より抜粋)

軽量、緩衝性、そして耐久性、まさにスポーツ用の素材として
は申し分ないものと言えます。

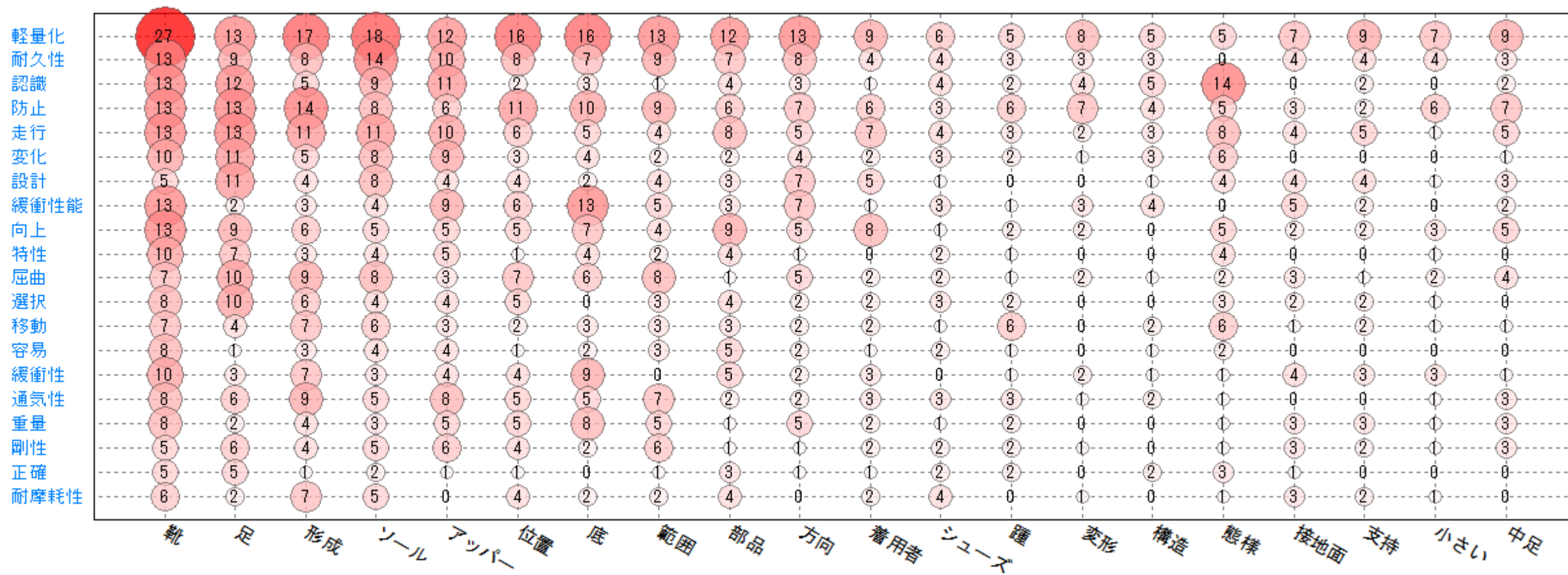
2)-1 各社 課題（縦）/解決（横） ナイキ

課題×解決ワード



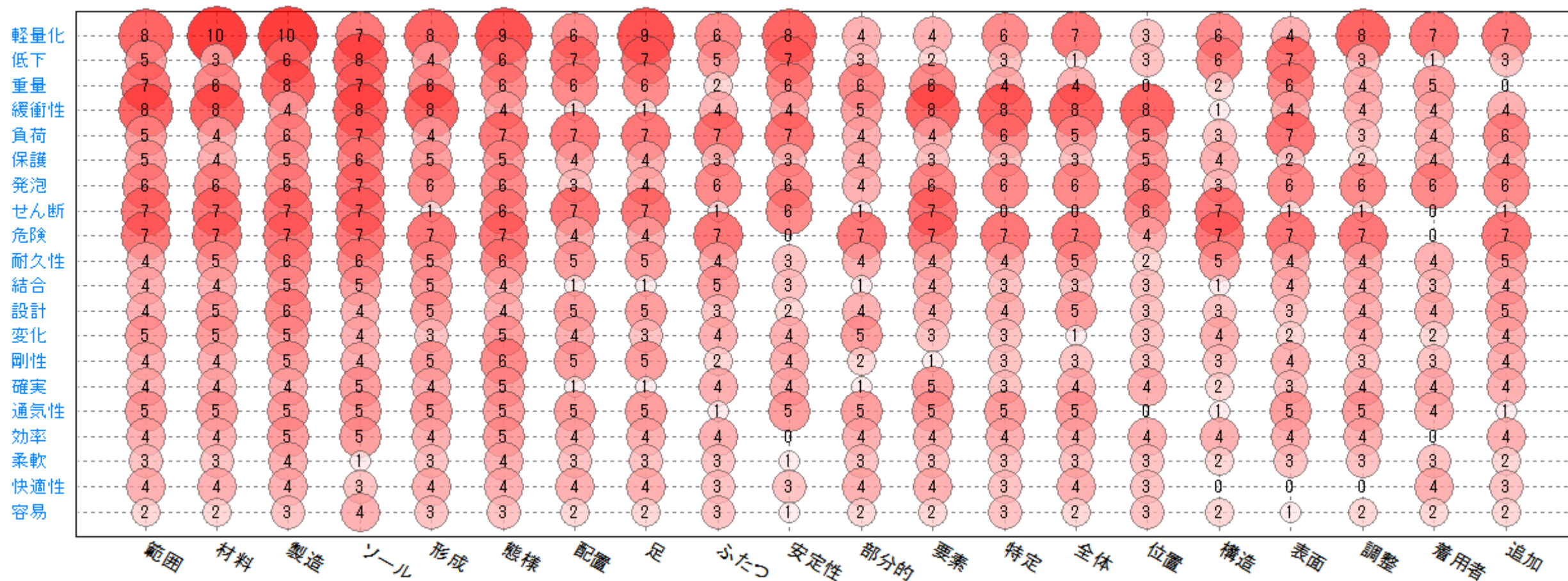
2)-2 各社 課題（縦）/解決（横） アシックス

課題×解決ワード



2)-3 各社 課題（縦）/解決（横） アディダス

課題×解決ワード



2) 各社 課題/解決にみる 3 社の概観

ナイキ . . . **柔軟性**・クッション性 に注力か？
アシックス . . . 軽量・緩衝（クッション）に注力か？
アディダス . . . 軽量・緩衝（クッション）に注力か？

各 3 社とも、それぞれ、用語の使い方がまちまちであるため、単純に比較というわけにはいかないが、ナイキで上位に来る“柔軟性”に相当する語が他の 2 社では見られず、この点はナイキの特徴ではないかと推量されます。

ナイキの明細書では、柔軟性⇒フィット感を高める目的であろうか、その効果について以下のように述べられています。

「チャンバに様々なレベルの柔軟性を提供することで、履物のソール構造柔軟性と着用者の足との間の相関を高めることができる。」

(特許6431910)

3) 総評 (1)

テキストマイニングにより、課題を中心に総合的に集計した場合、3社の特徴は以下のようになりました。

名称	行数	文書数	名称
ナイキ イノベイト	5	24	軽量化/通気性/生産性/快適性/信頼性
アシックス	5	68	軽量化/通気性/小型化/快適性/時間短縮
アディダス アーゲー	5	25	軽量化/通気性/快適性/効率低下/毒性

3社いずれも、軽量化や通気性という点では、競争が激しいことが伺え、その点に関しての工夫こそが差別化につながっていると思われます。

3) 総評 (2)

先に挙げた、スポーツ雑誌NumberのWebの記事に拠ると、太田蒼生選手（元青山学院大学）は、脚に余力があったのは、シューズのおかげとも語っています。

靴の軽さ＝成績の上昇となる印象がますます選手の間広がるようであれば開発に関する競争も激しく、また、特許出願への影響も増えていくことになることが予想されることでしょう。



JPDS

www.jpds.co.jp

知的財産戦略の総合サポート

JPDS 日本パテントデータサービス株式会社

本 社	〒105-0003	東京都港西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル	TEL:03(3580)8021
名古屋	〒460-0008	名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL:052(219)4561
大 阪	〒550-0004	大阪市西区靱本町1-7-18 ビーイングビル	TEL:06(6448)7401
九 州	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-17-1 博多プレステージ本館	TEL:092(687)7687